

<為替ヘッジあり>

第3期末（2026年7月27日）	
基準価額	15,314円
純資産総額	637百万円
騰落率	14.9%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第3期末（2026年7月27日）	
基準価額	17,798円
純資産総額	101億円
騰落率	32.2%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイゴールドファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) <購入・換金手数料なし>

追加型投信／内外／その他資産（商品）

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2025年7月26日～2026年7月27日

第3期(決算日 2026年7月27日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）<購入・換金手数料なし>」は、このたび第3期の決算を行いました。

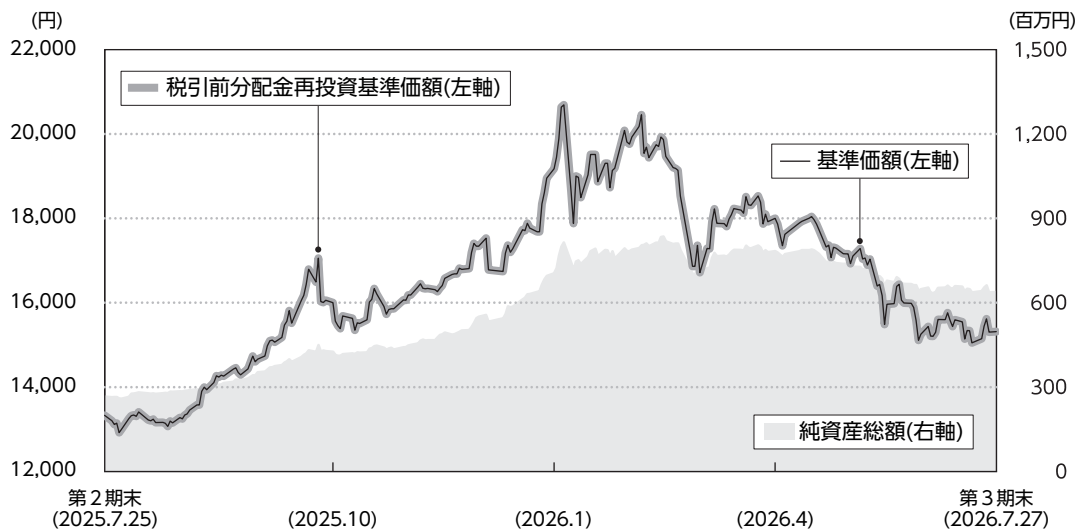
各ファンドは、「ニッセイゴールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年7月26日～2026年7月27日

基準価額等の推移



第3期首	13,328円	既払分配金	0円
第3期末	15,314円	騰落率（分配金再投資ベース）	14.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- ・ 2025年8月から10月にかけて金価格が上昇したこと
- ・ 11月から2026年2月にかけて金価格が上昇したこと

＜下落要因＞

- ・ 2026年3月から5月にかけて金価格が下落したこと

詳しくは後掲の「金市況」をご参照ください。

1 万口当たりの費用明細

項目	第 3 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.276%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は16,535円です。
(投信会社)	(21)	(0.127)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(21)	(0.127)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	5	0.033	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(5)	(0.033)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	17	0.104	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(17)	(0.102)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	68	0.413	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

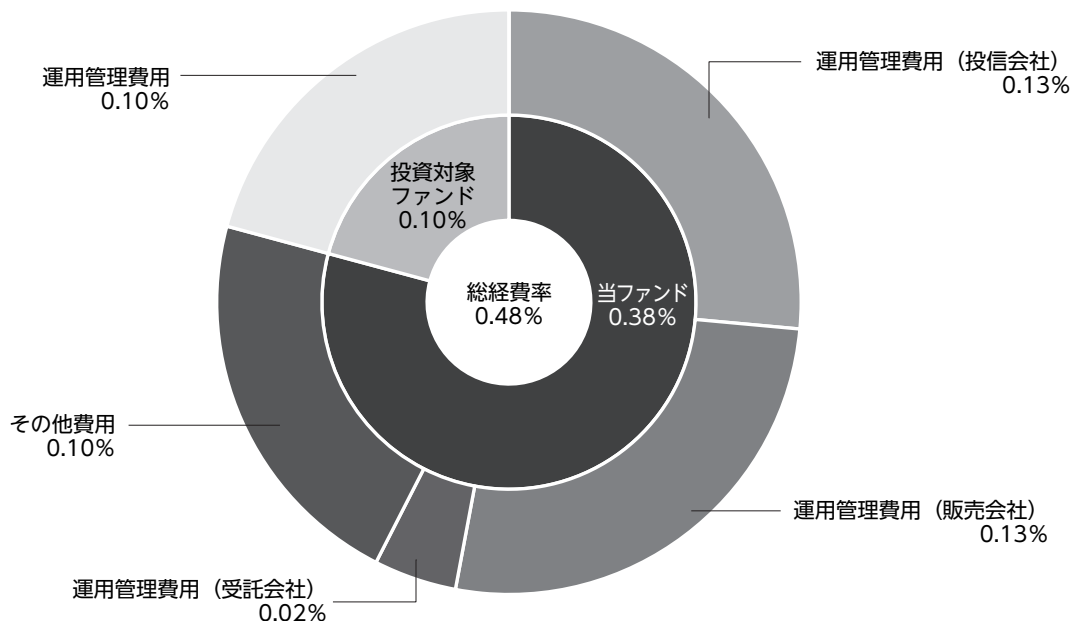
(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.48%**です。



総経費率（①+②）	0.48%
①当ファンドの費用の比率	0.38%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れているマザーファンドが投資している投資信託証券です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。②の費用は、当ファンドが間接的に負担している投資対象ファンドの費用です。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（注8）投資対象ファンドの費用は総経費率、信託報酬率で全額を運用管理費用としています。

基準価額等の推移



第3期首	13,461円	既払分配金	0円
第3期末	17,798円	騰落率（分配金再投資ベース）	32.2%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2025年8月から10月にかけて金価格が上昇したこと
- ・11月から2026年2月にかけて金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・2026年3月から5月にかけて金価格が下落したこと
- ・3月から5月にかけて米ドル安円高となったこと

詳しくは後掲の「金市況」、「為替市況」をご参照ください。

1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	50円	0.276%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,994円です。
(投信会社)	(23)	(0.127)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.127)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	6	0.032	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(6)	(0.032)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.012	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	58	0.321	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

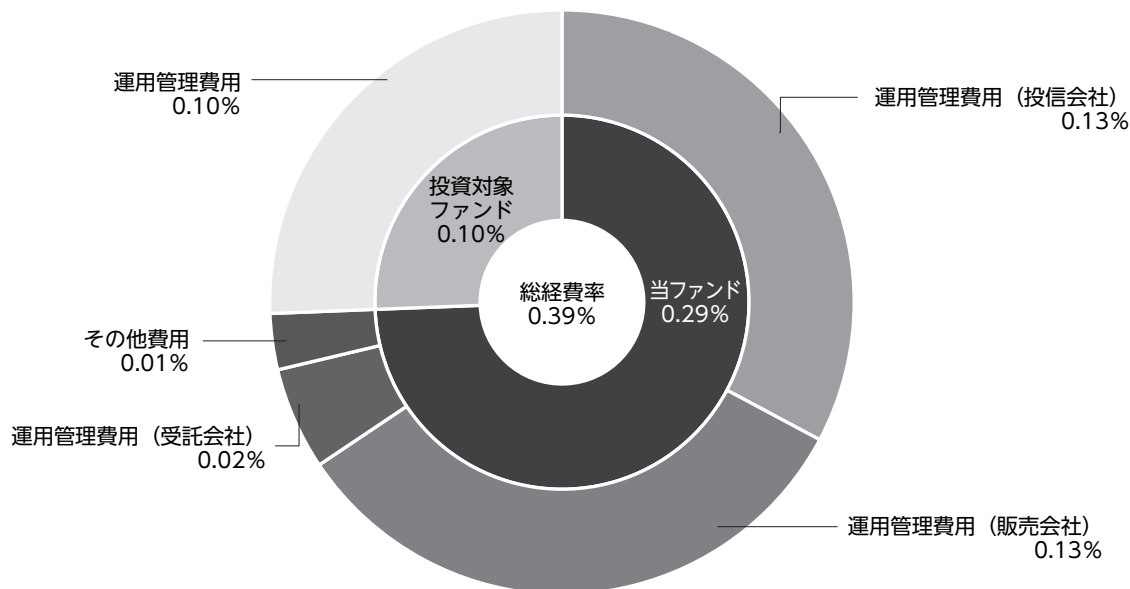
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.39%**です。



総経費率（①＋②）	0.39%
①当ファンドの費用の比率	0.29%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れているマザーファンドが投資している投資信託証券です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。②の費用は、当ファンドが間接的に負担している投資対象ファンドの費用です。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

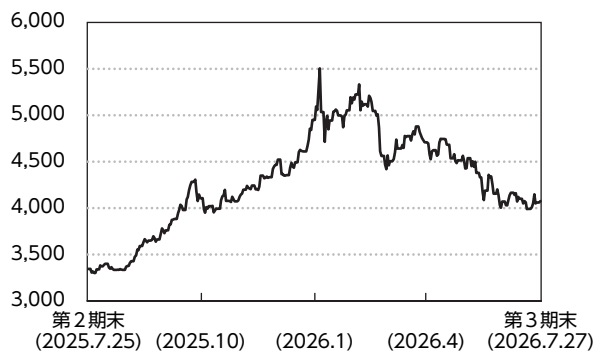
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（注8）投資対象ファンドの費用は総経費率、信託報酬率で全額を運用管理費用としています。

投資環境

■金市況

【ロンドン時刻15時の米ドル建ての金価格の推移】



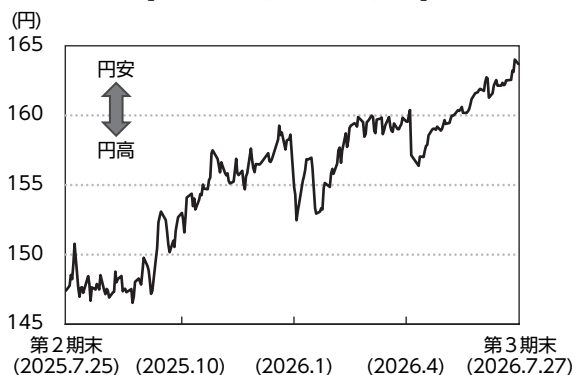
(注) ロンドン時刻15時の米ドル建ての金価格は、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

期初は、一時的な利益確定売りに押される場面もあったものの、トランプ米大統領による米連邦準備制度理事会（F R B）理事の解任発表や、米雇用統計の下振れによる利下げ観測の高まり、米地銀の信用不安等から、金価格は上昇しました。2025年11月から2026年2月にかけては、量的緩和に否定的とみられる次期F R B議長の名に伴う米ドル高などが重荷となる局面もあったものの、F R Bの独立性を巡る懸念や地政学リスクの高まりから、金価格は上昇しました。3月から5月にかけては、利下げ観測の後退等から金価格は下落しました。当期末にかけては、エネルギー価格の上昇等によりインフレ高止まり懸念が意識され、F R Bの追加利上げ観測が強まったことから、金価格は下落しました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは期を通じてみると米ドル高円安となりました。

期初は、日銀の利上げ期待とF R Bの利下げ観測により米ドル安円高となる局面があったものの、自民党総裁選での高市氏の勝利を受け、財政拡大への警戒感等から、米ドル高円安となりました。その後、2026年2月にかけては、自民党が衆院選で大勝したこと等から米ドル高円安となりました。3月から5月にかけては、政府・日銀の為替介入により米ドル安円高となる局面があったものの、米国・イスラエルとイランの軍事衝突を背景とした原油価格の急騰によるインフレ懸念に伴うF R Bの利下げ観測の後退等に加え、当期末にかけては日米金利差継続の見方等から、米ドル高円安で推移しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年7月26日～2026年7月27日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	5,313円

■為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年7月26日～2026年7月27日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,797円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 今後の運用方針

■ 各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■ マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）＜購入・換金手数料なし＞の組入資産の内容

■組入ファンド

	第3期末 2026年7月27日
ニッセイゴールドマザーファンド	101.1%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

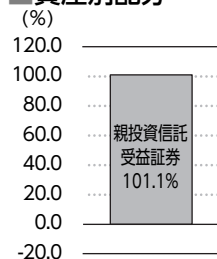
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

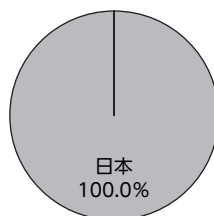
項目	第3期末 2026年7月27日
純資産総額	637,538,981円
受益権総口数	416,323,717口
1万口当たり基準価額	15,314円

(注) 当期間中における追加設定元本額は493,253,353円、同解約元本額は276,734,489円です。

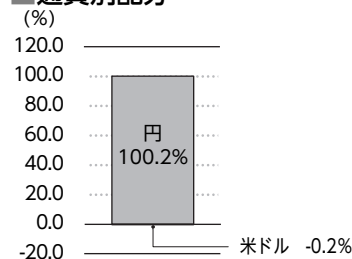
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年7月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞の組入資産の内容

■組入ファンド

	第3期末 2026年7月27日
ニッセイゴールドマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

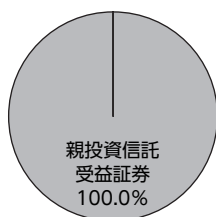
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

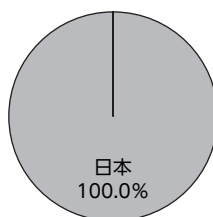
項目	第3期末 2026年7月27日
純資産総額	10,146,757,304円
受益権総口数	5,701,081,193口
1万口当たり基準価額	17,798円

(注) 当期間中における追加設定元本額は6,387,939,451円、同解約元本額は2,988,135,843円です。

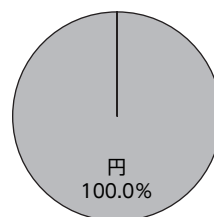
■資産別配分



■国別配分



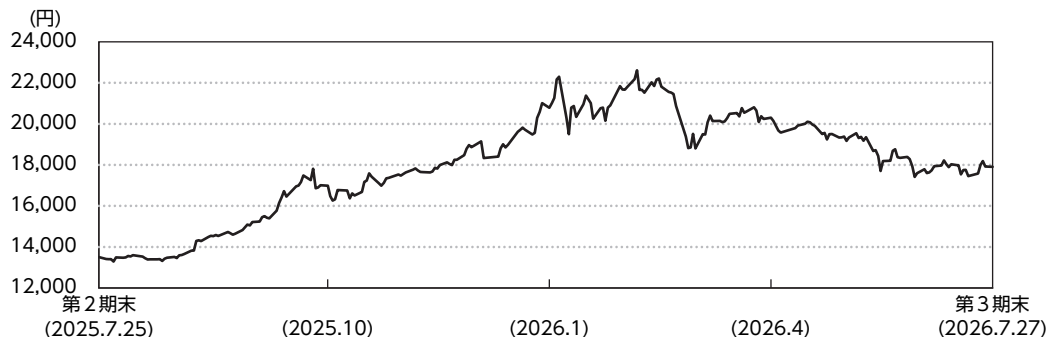
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年7月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイゴールドマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

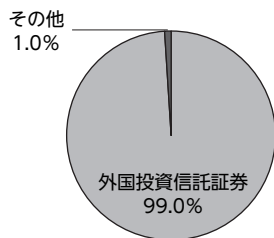
銘柄名	通貨	比率
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	米ドル	99.0%
組入銘柄数	1	

■1万口当たりの費用明細

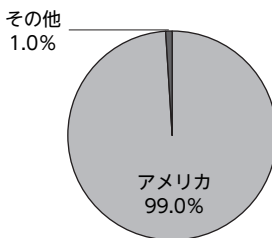
2025.7.26～2026.7.27

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	6円 (6)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	8

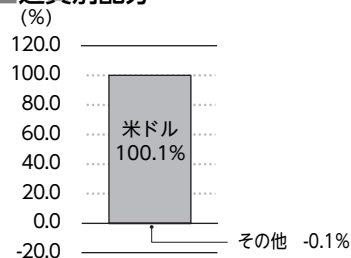
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2026年7月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	－	－	10,000	－	99
1期(2024年7月25日)	10,250	0	2.5	10,250	93.0	125
2期(2025年7月25日)	13,328	0	30.0	13,328	98.8	266
3期(2026年7月27日)	15,314	0	14.9	15,314	100.1	637

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注6) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年7月25日	13,328	－	98.8
7月末	12,920	△ 3.1	99.5
8月末	13,455	1.0	97.0
9月末	14,977	12.4	99.5
10月末	15,685	17.7	99.7
11月末	16,182	21.4	99.8
12月末	16,776	25.9	99.1
2026年1月末	20,689	55.2	97.4
2月末	19,927	49.5	100.7
3月末	17,280	29.7	99.7
4月末	17,351	30.2	99.8
5月末	17,105	28.3	100.5
6月末	15,209	14.1	100.3
(期末)2026年7月27日	15,314	14.9	100.1

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年7月26日～2026年7月27日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	470,091	866,924	308,656	570,242

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年7月26日～2026年7月27日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年7月27日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	198,484	359,919	644,471

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は6,208,438千口です。

投資信託財産の構成

2026年7月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	644,471	98.0
コール・ローン等、その他	13,334	2.0
投資信託財産総額	657,806	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月27日における邦貨換算レートは、1米ドル163.69円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,122,830千円）の投資信託財産総額（11,174,865千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月27日現在)

項目	当期末
(A)資産	1,351,043,396円
コール・ローン等	992,238
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	644,471,677
未収入金	705,579,481
(B)負債	713,504,415
未払金	700,435,279
未払解約金	12,052,495
未払信託報酬	1,012,682
その他未払費用	3,959
(C)純資産総額(A-B)	637,538,981
元本	416,323,717
次期繰越損益金	221,215,264
(D)受益権総口数	416,323,717口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,314円

(注) 期首元本額 199,804,853円
 期中追加設定元本額 493,253,353円
 期中一部解約元本額 276,734,489円

損益の状況

当期（2025年7月26日～2026年7月27日）

項目	当期
(A)配当等収益	2,161円
受取利息	2,161
(B)有価証券売買損益	△ 42,170,360
売買益	111,073,256
売買損	△ 153,243,616
(C)信託報酬等	△ 2,101,574
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 44,269,773
(E)前期繰越損益金 （分配準備積立金）	8,226,334 (8,226,334)
(F)追加信託差損益金* （配当等相当額） （売買損益相当額）	257,258,703 (39,445,854) (217,812,849)
(G)合計(D+E+F)	221,215,264
次期繰越損益金(G)	221,215,264
追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額） 分配準備積立金 繰越欠損金	257,258,703 (39,445,854) (217,812,849) 8,226,334 △ 44,269,773

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	212,988,930円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	8,226,334円
(e) 分配対象額（a + b + c + d）	221,215,264円
(f) 分配対象額（1万口当たり）	5,313.54円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（1万口当たり）	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	－	－	10,000	－	1
1期(2024年7月25日)	10,147	0	1.5	10,147	96.3	112
2期(2025年7月25日)	13,461	0	32.7	13,461	98.2	3,097
3期(2026年7月27日)	17,798	0	32.2	17,798	99.0	10,146

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注6) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年7月25日	13,461	－	98.2
7月末	13,242	△ 1.6	97.4
8月末	13,608	1.1	97.8
9月末	15,392	14.3	98.5
10月末	16,712	24.2	98.5
11月末	17,562	30.5	98.2
12月末	18,252	35.6	98.4
2026年1月末	22,192	64.9	99.1
2月末	21,694	61.2	99.0
3月末	19,379	44.0	99.0
4月末	19,573	45.4	99.0
5月末	19,226	42.8	99.1
6月末	17,499	30.0	99.0
(期末)2026年7月27日	17,798	32.2	99.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年7月26日～2026年7月27日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	6,359,009	11,635,229	2,985,925	5,579,569

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年7月26日～2026年7月27日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年7月27日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	2,293,724	5,666,808	10,146,987

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は6,208,438千口です。

投資信託財産の構成

2026年7月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	10,146,987	99.4
コール・ローン等、その他	61,028	0.6
投資信託財産総額	10,208,015	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月27日における邦貨換算レートは、1米ドル163.69円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,122,830千円）の投資信託財産総額（11,174,865千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月27日現在)

項目	当期末
(A)資産	10,208,015,884円
コール・ローン等	15,133,845
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	10,146,987,812
未収入金	45,894,227
(B)負債	61,258,580
未払解約金	45,738,718
未払信託報酬	15,458,121
その他未払費用	61,741
(C)純資産総額(A-B)	10,146,757,304
元本	5,701,081,193
次期繰越損益金	4,445,676,111
(D)受益権総口数	5,701,081,193口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,798円

(注) 期首元本額 2,301,277,585円
 期中追加設定元本額 6,387,939,451円
 期中一部解約元本額 2,988,135,843円

損益の状況

当期（2025年7月26日～2026年7月27日）

項目	当期
(A)配当等収益	31,869円
受取利息	31,869
(B)有価証券売買損益	260,515,022
売買益	838,591,149
売買損	△ 578,076,127
(C)信託報酬等	△ 23,673,695
(D)当期損益金(A+B+C)	236,873,196
(E)前期繰越損益金（分配準備積立金）	117,139,821（117,139,821）
(F)追加信託差損益金*（配当等相当額）（売買損益相当額）	4,091,663,094（425,752,848）（3,665,910,246）
(G)合計(D+E+F)	4,445,676,111
次期繰越損益金(G)	4,445,676,111
追加信託差損益金（配当等相当額）（売買損益相当額）	4,091,663,094（425,752,848）（3,665,910,246）
分配準備積立金	354,013,017

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	29,502円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	236,843,694円
(c) 信託約款に定める収益調整金	4,091,663,094円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	117,139,821円
(e) 分配対象額（a + b + c + d）	4,445,676,111円
(f) 分配対象額（1万口当たり）	7,797.95円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（1万口当たり）	0円

お知らせ

■各ファンドの約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）＜購入・換金手数料なし＞



https://www.nam.co.jp/fundinfo/ngf_a/main.html

■ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞



https://www.nam.co.jp/fundinfo/ngf_b/main.html

■ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞（確定拠出年金向け）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/dcngf_b/main.html

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし			
商	品	分	類	追加型投信／内外／その他資産（商品）		
信	託	期	間	無期限		
運	用	方	針	ニッセイゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
				実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイゴールドファンド ＜購入・換金手数料なし＞		ニッセイゴールドマザーファンド受益証券			
	ニッセイゴールドマザーファンド		金価格への連動をめざすＥＴＦ等			
運用方法	ニッセイゴールドファンド ＜購入・換金手数料なし＞		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。			
	ニッセイゴールドマザーファンド		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。			
分	配	方	針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。		

ニッセイゴールドマザーファンド

運用報告書

第 3 期

(計算期間：2025年7月26日～2026年7月27日)

運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

主要運用 対象

金価格への連動をめざすＥＴＦ等

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・ 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

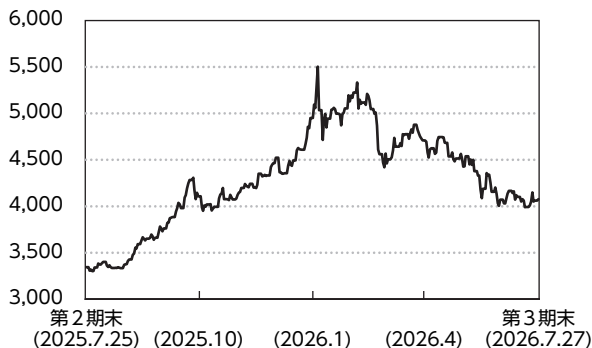
運用経過

2025年7月26日～2026年7月27日

投資環境

金市況

【ロンドン時刻15時の米ドル建ての金価格の推移】



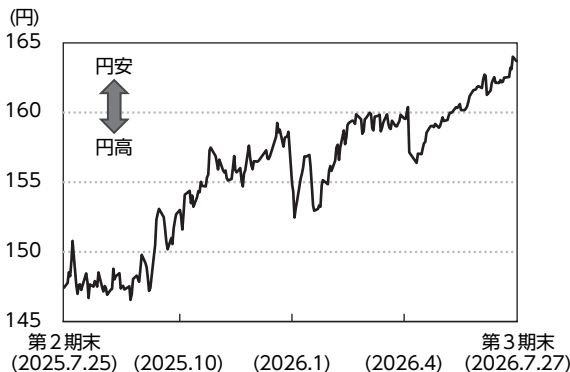
(注) ロンドン時刻15時の米ドル建ての金価格は、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

期初は、一時的な利益確定売りに押される場面もあったものの、トランプ米大統領による米連邦準備制度理事会（F R B）理事の解任発表や、米雇用統計の下振れによる利下げ観測の高まり、米地銀の信用不安等から、金価格は上昇しました。2025年11月から2026年2月にかけては、量的緩和に否定的とみられる次期F R B議長の名指に伴う米ドル高などが重荷となる局面もあったものの、F R Bの独立性を巡る懸念や地政学リスクの高まりから、金価格は上昇しました。3月から5月にかけては、利下げ観測の後退等から金価格は下落しました。当期末にかけては、エネルギー価格の上昇等によりインフレ高止まり懸念が意識され、F R Bの追加利上げ観測が強まったことから、金価格は下落しました。

為替市況

【米ドル／円レートの推移】

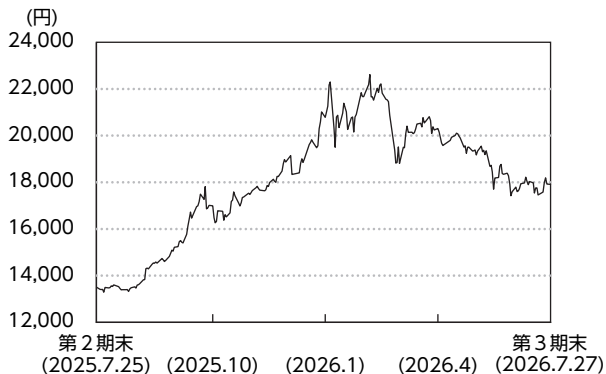


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは期を通じてみると米ドル高円安となりました。

期初は、日銀の利上げ期待とF R Bの利下げ観測により米ドル安円高となる局面があったものの、自民党総裁選での高市氏の勝利を受け、財政拡大への警戒感等から、米ドル高円安となりました。その後、2026年2月にかけては、自民党が衆院選で大勝したこと等から米ドル高円安となりました。3月から5月にかけては、政府・日銀の為替介入により米ドル安円高となる局面があったものの、米国・イスラエルとイランの軍事衝突を背景とした原油価格の急騰によるインフレ懸念に伴うF R Bの利下げ観測の後退等に加え、当期末にかけては日米金利差継続の見方等から、米ドル高円安で推移しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2025年8月から10月にかけて金価格が上昇したこと
- ・ 11月から2026年2月にかけて金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 2026年3月から5月にかけて金価格が下落したこと
- ・ 3月から5月にかけて米ドル安円高となったこと

詳しくは「金市況」、「為替市況」をご参照ください。

ポートフォリオ

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■ 今後の運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ お知らせ

■ 約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

（2026年4月1日）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	%	%	百万円
2024年4月30日	10,000	—	—	100
1期(2024年7月25日)	10,153	1.5	96.3	233
2期(2025年7月25日)	13,505	33.0	98.2	3,366
3期(2026年7月27日)	17,906	32.6	99.0	11,116

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注3) 当マザーファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年7月25日	13,505	—	98.2
7月末	13,286	△ 1.6	97.4
8月末	13,656	1.1	97.8
9月末	15,451	14.4	98.5
10月末	16,779	24.2	98.5
11月末	17,637	30.6	98.2
12月末	18,334	35.8	98.4
2026年1月末	22,297	65.1	99.1
2月末	21,801	61.4	99.0
3月末	19,479	44.2	99.0
4月末	19,679	45.7	99.0
5月末	19,334	43.2	99.1
6月末	17,602	30.3	99.0
(期末)2026年7月27日	17,906	32.6	99.0

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2025年7月26日～2026年7月27日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	6円 (6)	0.032% (0.032)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.011 (0.011)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	8	0.043	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（18,080円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年7月26日～2026年7月27日

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 (アメリカ)	千口	千米ドル	千口	千米ドル
国 SPDR GOLD MINISHARES TRUST	557	47,602	54	4,637

(注1) 金額は受渡金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2026年7月27日現在

外国 (外貨建) 投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千口	千口	千米ドル	千円
SPDR GOLD MINISHARES TRUST		336	838	67,240	11,006,626
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	336	838	67,240	11,006,626
		1	1	—	<99.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

投資信託財産の構成

2026年7月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	11,006,626	98.5
コール・ローン等、その他	168,238	1.5
投資信託財産総額	11,174,865	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月27日における邦貨換算レートは、1米ドル163.69円です。

(注2) 外貨建純資産 (11,122,830千円) の投資信託財産総額 (11,174,865千円) に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイゴールドマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月27日現在)

項目	当期末
(A)資産	11,200,765,265円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	168,238,646
投 資 信 託 証 券(評価額)	11,006,626,619
未 収 入 金	25,900,000
(B)負債	83,968,008
未 払 金	26,000,043
未 払 解 約 金	57,967,965
(C)純 資 産 総 額(A - B)	11,116,797,257
元 本	6,208,438,653
次 期 繰 越 損 益 金	4,908,358,604
(D)受 益 権 総 口 数	6,208,438,653口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	17,906円

- (注1) 期首元本額 2,492,949,999円
期中追加設定元本額 7,032,622,448円
期中一部解約元本額 3,317,133,794円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）
<購入・換金手数料なし> 359,919,400円
ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）
<購入・換金手数料なし> 5,666,808,786円
FWニッセイゴールドファンド 181,193,343円
ニッセイゴールドファンド（適格機関投資家専用） 517,124円

損益の状況

当期（2025年7月26日～2026年7月27日）

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	3,542,972円
受 取 利 息	3,542,972
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	1,096,942,770
売 買 益	1,097,043,373
売 買 損	△ 100,603
(C)信 託 報 酬 等	△ 953,671
(D)当期損益金 (A + B + C)	1,099,532,071
(E)前 期 繰 越 損 益 金	873,701,369
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	5,809,529,617
(G)解 約 差 損 益 金	△2,874,404,453
(H)合 計(D + E + F + G)	4,908,358,604
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	4,908,358,604

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。